

FISHING トピック No.35

おおあめ かいがん 大雨あとの海岸で…

梅雨の最盛期の到来を感じる大雨が降りました。
みなさん、大雨の影響はありませんでしたか？
もし少年自然の家は幸いなことに大きな被害もなく通常通り開館しています。この後も雨の日が続く予報が出ていますので、河川の増水や土砂災害に気を付けてくださいね！そして、いざという時への備えをしっかりとしておきましょう。
さて、滝のような雨が止んだ翌日、何気なく海を見るとゴミの島が沖合にできていました。線状に



広がるゴミの島、潮が満ちると同時に海岸に打ち上がっていきます。磯場は流木を中心とした漂流物で覆われ、生き物たちの姿もあまり見受けられませんでした。干潟には大量の流木や海洋ゴミの他に川に生息する動植物も流させて来ていました。まずはオオフサモ。オオフサモは南アメリカ原産で水槽の観賞用水草として輸入されました。しかし、それが遺棄逸出し野生化。繁殖力が強く繁茂すると通水障害や水質悪化などを招く恐れがあるとされています。このことから平成18年に特定外来生物に指定されました。特定外来生物は栽培・販売・遺棄などが禁止されています。どこかで繁殖して

いたオオフサモが濁流に流され漂着したようです。続いてはワカサギ。寒い冬に凍った湖に穴を開けて釣る魚というイメージがありますね。そして、殆どの方がワカサギは川や湖に暮らす淡水魚と誤解していることでしょう。実は…ワカサギは淡水でも海水でも生きられる回遊魚です。サケと同じく川で生まれ海で生活して川に戻って産卵する遡河回遊魚とされています。ただ、生涯を淡水で暮らすワカサギもいるそうです。ワカサギは環境への適応能力が高く濁りにも強いので、全国各地の河川や湖に数多く放流されています。そのため、ワカサギは淡水に暮らす魚と思いがちで、雨の後の海岸には新しい発見があるかも？みなさんも、天気が良くなったから海岸散策に出かけてみてはいかがでしょうか？

